



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場取引所 東 大

上場会社名 東海リース 株式会社

コード番号 9761 URL <http://www.tokai-lease.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三木 伸之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理会計部長

(氏名) 西 彰一

TEL 06-6352-0001

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,042	△20.8	238	△49.6	214	△52.0	181	△49.0
24年3月期第2四半期	7,629	42.9	473	312.9	446	444.9	356	858.9

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 173百万円 (△55.6%) 24年3月期第2四半期 390百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	5.23	—
24年3月期第2四半期	10.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
25年3月期第2四半期	26,012	409.70	14,823	409.94	54.8	409.70
24年3月期	27,485	409.94	14,825	409.94	51.9	409.94

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 14,255百万円 24年3月期 14,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	△12.9	580	△19.5	550	△17.1	440	△25.7	12.64

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	34,943,225 株	24年3月期	34,943,225 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	148,137 株	24年3月期	146,684 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	34,795,746 株	24年3月期2Q	34,797,437 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興へ向けて本格的に動き始めたものの、諸物価の値上げを控え、先行きの不透明感は払拭されず、個人消費は伸び悩み、景気全体は緩やかな回復傾向にとどまっております。

また、円高の長期化や欧州の経済危機問題、アジア経済の減速等の影響を受け輸出は伸び悩み、貿易収支は東日本大震災以降1年半以上にわたって赤字が続くなど、企業業績は懸念材料を抱え、引き続き予断を許さない状況が続いております。

仮設建物リース業界におきましても、応急仮設住宅の反動による売上高の大幅減は避けられず、復興関連工事に伴う需要だけでは補いきれず、減収を余儀なくされております。

このような状況におきまして当社グループは、東北地区を重点地域として積極的な営業活動を行い、仙台支店の営業力強化と昨年新設いたしました盛岡、福島の両営業所を新たな活動拠点とし、復興需要の開拓と深耕に取り組みました。

また、震災地以外の地域におきましても、東日本大震災以降、控えられていた設備投資に緩やかながら持ち直しの動きがみられ、受注活動は堅調に推移いたしました。復興計画の遅れなどにより、当第2四半期連結累計期間への反映は限定的なものとなっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は6,042百万円（前年同四半期比20.8%減）となりました。損益面につきましては、営業利益は238百万円（前年同四半期比49.6%減）、経常利益は214百万円（前年同四半期比52.0%減）、四半期純利益は181百万円（前年同四半期比49.0%減）となりました。

なお、セグメントごとの業績は、日本が売上高5,808百万円（前年同四半期比20.9%減）、中国が234百万円（前年同四半期比54.3%減、セグメント間取引消去後233百万円（前年同四半期比17.3%減））となりました。また、営業損益は日本が236百万円の営業利益（前年同四半期比49.6%減）、中国が1百万円の営業損失（前年同四半期は63百万円の営業利益、セグメント間取引消去後は1百万円の営業利益（前年同四半期比55.5%減））となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末より1,473百万円減少し、26,012百万円となりました。理由の主なもの現金及び預金の減少2,122百万円であります。

負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末より1,470百万円減少し、11,189百万円となりました。理由の主なものは支払手形及び買掛金の減少931百万円であります。

純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末より2百万円減少し、14,823百万円となりました。理由の主なものは四半期純利益181百万円の計上及び配当金の支払173百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済の見通しについては、海外経済の減速を受け、足踏み状態が当面の間続くものと思われます。

当社グループを取り巻く環境といたしましても、応急仮設住宅の反動による影響を最小限にとどめるため、引き続き復興需要の開拓や深耕に邁進してまいります。

現段階におきましては、当中間期の業績が概ね本年4月27日に公表いたしました予想通りであったことから、通期の予想につきましても変更しておりません。

なお、業績予想につきましては現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまなリスク要因や不確実な要素により、現時点の予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,786	1,664
受取手形及び売掛金	8,446	8,989
商品及び製品	127	115
仕掛品	5	36
原材料及び貯蔵品	466	431
その他	231	315
貸倒引当金	△57	△58
流動資産合計	13,005	11,493
固定資産		
有形固定資産		
リース用資産(純額)	5,398	5,443
建物及び構築物(純額)	2,278	2,208
土地	4,982	4,982
リース資産(純額)	1,088	1,185
その他(純額)	125	122
有形固定資産合計	13,873	13,941
無形固定資産		
投資その他の資産	238	259
投資有価証券	112	91
その他	241	217
投資その他の資産合計	354	308
固定資産合計	14,466	14,509
繰延資産	14	9
資産合計	27,485	26,012
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,175	2,243
短期借入金	878	807
1年内償還予定の社債	1,000	1,000
リース債務	404	438
未払法人税等	122	46
前受リース収益	2,505	2,609
賞与引当金	210	136
役員賞与引当金	22	14
設備関係支払手形	59	79
その他	505	487
流動負債合計	8,884	7,864

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
固定負債		
社債	600	500
長期借入金	2,095	1,820
リース債務	377	306
繰延税金負債	25	21
退職給付引当金	549	542
役員退職慰労引当金	127	132
固定負債合計	3,775	3,324
負債合計	12,660	11,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,032	8,032
資本剰余金	5,637	5,637
利益剰余金	1,018	1,026
自己株式	△26	△27
株主資本合計	14,662	14,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	0
為替換算調整勘定	△412	△414
その他の包括利益累計額合計	△397	△414
少数株主持分	561	567
純資産合計	14,825	14,823
負債純資産合計	27,485	26,012

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,629	6,042
売上原価	5,912	4,613
売上総利益	1,716	1,428
販売費及び一般管理費	1,243	1,189
営業利益	473	238
営業外収益		
受取利息	1	4
スクラップ売却益	13	5
保険解約返戻金	—	8
その他	11	10
営業外収益合計	26	28
営業外費用		
支払利息	30	42
支払手数料	12	—
その他	11	10
営業外費用合計	53	52
経常利益	446	214
特別利益		
固定資産売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産除却損	48	11
固定資産売却損	0	—
特別損失合計	48	11
税金等調整前四半期純利益	397	210
法人税、住民税及び事業税	87	28
法人税等調整額	△56	16
法人税等合計	31	44
少数株主損益調整前四半期純利益	366	165
少数株主利益又は少数株主損失(△)	10	△16
四半期純利益	356	181

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	366	165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△14
為替換算調整勘定	27	22
その他の包括利益合計	23	7
四半期包括利益	390	173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	375	165
少数株主に係る四半期包括利益	14	7

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日 本	中 国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,346	282	7,629	—	7,629
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	229	229	△229	—
計	7,346	512	7,859	△229	7,629
セグメント利益	470	63	534	△60	473

(注) 1 調整額はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第2四半期連結会計期間の日本セグメントの資産の金額が3,079百万円増加しておりますが、その主な理由は、応急仮設住宅売上等による受取手形及び売掛金の増加2,051百万円であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日 本	中 国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,808	233	6,042	—	6,042
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	0	△0	—
計	5,808	234	6,042	△0	6,042
セグメント利益又は損失(△)	236	△1	235	3	238

(注) 1 調整額はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。